

北海道地域物流シンポジウム  
2026  
～持続可能な北海道物流の未来を拓く～

2026  
2/20 (金) 14:00~16:00 先着順 参加無料

会場 アスティ45 4階 アスティホール (札幌市中央区北4条西5丁目)

配信方法 Zoom

対象 製造・卸売・小売業等すべての荷主事業者、  
運送・倉庫業等の物流事業者 等

定員 [会場] 130名程度、[オンライン] 200名程度

主催 経済産業省北海道経済産業局

プログラム

- ・北海道における経済産業省の物流効率化の取組と改正物流効率化法について  
／ 経済産業省北海道経済産業局
- ・共同輸配送データベース&デジタルマッチングシステム実証事業について  
／ (一社) 運輸デジタルビジネス協議会・(株) traevo
- ・水産物流の効率化・標準化に向けた実証事業について / (株) ドーコン
- ・2024年問題を受けた荷主との物流課題解決に向けた取組/エア・ウォーター物流 (株)
- ・北海道物流WEEK 2026 総括と未来に向けて/北海道商科大学 商学部商学科 教授 相浦 宣徳 氏  
・名刺・情報交換等

お申込方法 (締切: 2/19 (木) 12:00)

以下の申込フォーム・二次元コードよりお申し込み下さい。  
<https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/hokkaido-sangyousinkou/20260220>

問い合わせ先

経済産業省北海道経済産業局 産業部 産業振興課 担当: 小島、松森、高橋  
E-mail: bz1-hokkaido-ryutsu@meti.go.jp / TEL: 011-709-2311 (内線2591、2592)  
(事務局)  
株式会社ドーコン 交通事業本部 交通部 担当: 西田、須田、米田、渡辺  
E-mail: r7buturyu@docon.jp / TEL: 011-801-1520

# (総括) 北海道物流WEEK2026総括 と未来に向けて

2026年02月20日  
於: 札幌市

北海商科大学  
相浦宣徳

# 北海道の物流と地域の将来(あす)を考える2日間

2024年度の振り返り

～ 経済産業省・国土交通省による合同イベントを全国初開催！ ～

## 物流インフラと流通システムのたすき掛け

### 国土交通省・経済産業省が連携

(北海道開発局・北海道運輸局)

(北海道経済産業局)

#### 1日目 2月19日 インフラから考える物流

国土交通省(北海道開発局・北海道運輸局)

##### 共同輸送・中継輸送を考えるシンポジウム

- 2024年問題とその背景 (北海道運輸局)
- 今年度事業の成果報告 (北海道開発局)

- これまでの検討経緯
- 「場所」に関する取組  
道の駅における実証実験  
名寄市における物流・防災拠点化構想
- 「仕組み」に関する取組  
『北海道物流マッチングモデル「ロジスク」  
リプレイス構想』
- デジタル技術による物流の可視化の取組

##### パネルディスカッション

テーマ：北海道における共同輸送・中継輸送の  
実装に向けて～「場所」と「仕組み」～

登壇者：北見工業大学地域未来デザイン工学科教授 高橋清氏  
北海道科大学商学部商学科教授 相浦宣徳氏  
名寄商工会議所、ヤマト運輸(株)、北海道開発局

地域物流を守るためには、関係者の協力と想像力が重要です。

#### 2日目 2月20日 産業から考える物流

経済産業省(北海道経済産業局)

##### 北海道地域フィジカルインターネット懇談会

- 道内事業者の物流実態及び共同化の可能性分析 (野村総合研究所)
- 経済産業省による実証事業報告 (経済産業省・実証事業者)

- 物流情報の電子化・データ連携促進
- 小売業の発注DX (在庫管理・需要予測)

##### 政策に関するご紹介

##### パネルディスカッション

テーマ：北海道における持続可能な物流のあり方  
～業種の枠を超えた共同配送へ～

登壇者：北海道科大学商学部商学科教授 相浦宣徳氏  
北見工業大学地域未来デザイン工学科教授 高橋清氏  
イオン北海道(株)、国分北海道(株)、F-LINE(株)

日時 2月19日(月) 共同輸送・中継輸送を考えるシンポジウム  
2月20日(火) 北海道地域フィジカルインターネット懇談会  
いずれも14:00～17:00

場所 いずれもアスティホール(アスティ45ビル4階)

「2024年問題」を共に乗り越えるまで

※セミナー1日目(2月19日)8:00から4月1日0:00までの時間

残り  
1,000  
時間

地域を支える効率的な物流システムの構築には、産業面から、それを支えるインフラ面からと多角的な検討が必要のため、北海道開発局・北海道運輸局・北海道経済産業局の道内3機関が連携して、検討を進めています。

協力：日本物流学会・北海道商工会議所連合会・北海道通運業連合会・北海道トラック協会



出所：報告書より(一部改変)

## 1.異業種連携の必要性と課題

- ①小売業界における需給バランスの偏り
- ②小売業界における厳しい納品要件

## 2.課題解決に向けて協調し得る領域

- ①納品時間、②リードタイム、③荷姿の標準化

## 3.課題解決にむけた方法

- ①発着荷主とのリードタイム交渉
- ②他業界・品目(青果物など)との帰荷マッチング
- ③輸送頻度の低減
- ④消費者に向けた課題周知
- ⑤行政主導による商習慣の改善
- ⑥貨物鉄道輸送、海上輸送の活用
- ⑦物流・商流データプラットフォーム

## 4.場所と仕組み

- ①中継・共同輸送の要となる拠点の整備
- ②リンクの高速化や輸送力の強化
- ③広域分散型の地域構造を基本に整備されたインフラの有効活用
- ④商習慣も含めソフト面の検討(マッチングと拠点の在り方)

主催：農林水産省北海道農政事務所、経済産業省北海道経済産業局、国土交通省北海道開発局・北海道運輸局、北海道

## 北海道物流WEEK2025

～「届く」と「運び続ける」をみんなで考える～

北海道物流WEEK2025は、物流課題の顕著な北海道における協業等に向けた機運醸成を図るため、北海道が一丸となって、シンポジウムや研究会、展示会などを開催するイベントです。荷物を運ぶ人のみならず、荷物を送る人、預ける人、受け取る人など、物流に関係する全ての皆様で、将来の北海道の物流をともに考え、地域を守っていきましょう。

参加費 無料

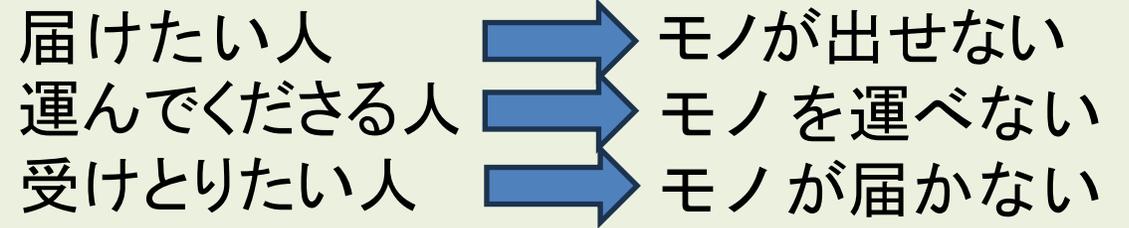
みなで北海道の物流を考える1週間

**About**  
**Date** 2025.2.17 Mon ~ 21 Fri  
**Audience** 荷物を送る人、預ける人、運ぶ人、受け取る人など、物流に関係する全ての皆様

**CONTENTS**

- 2.17 Mon ① 荷主、必見！協業で物流課題を乗り切ろう！北海道地域物流シンポジウムin札幌（経済産業省北海道経済産業局）  
② モーターソフトを促進！道内下り貨物列車活用による実証実験（日本貨物鉄道（株）北海道支社、北海道物流支社、札幌運輸支店、北海道（大学）の連携センター、北海道大学物流研究所）
- 2.18 Tue ③ 食料基地北海道！農産物輸送の未来を一緒に考えよう！北海道農産物・物流バランスアップセミナーin北見（農林水産省北海道農政事務所）
- 2.19 Wed ④ 小売荷主、物流事業者の協業で課題を解決！北海道物流研究会in札幌（北海道物流研究会）
- 2.20 Thu ⑤ 道北圏で考える物流課題！宗谷地域物流セミナーin稚内（稚内市、国土交通省北海道開発局稚内開発建設部）
- 2.21 Fri ⑥ 知ってほしい！物流のこと！物流イベント「あなたの荷物が届くまで」in札幌（国土交通省北海道運輸局、北海道）  
⑦ 見て！聞いて！物流の今とこれからを考える一日！物流・DX展示会&物流セミナーin札幌（札幌商工会議所 運輸自動車部会、北海道物流人倶楽部）

「届けたい人」「運んでくださる人」、  
そして**全ての人が「受けとりたい人」**



北海道商工会議所連合会・福井邦幸部長との議論から

主催：経済産業省・北海道経産局  
国土交通省 北海道開発局・北海道運輸局  
農林水産省・北海道農政事務所  
北海道

## 物流統括責任者(部門)

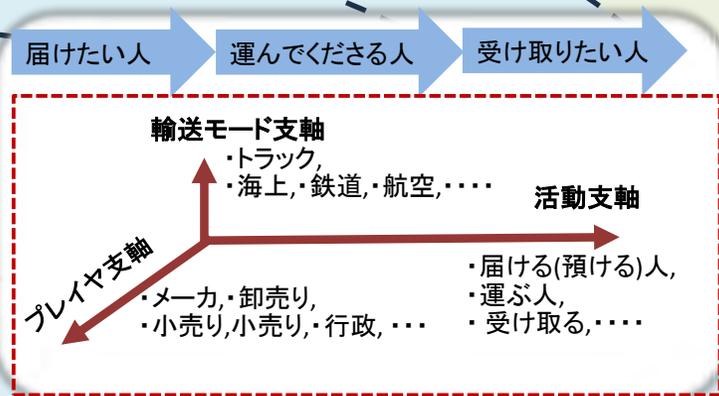
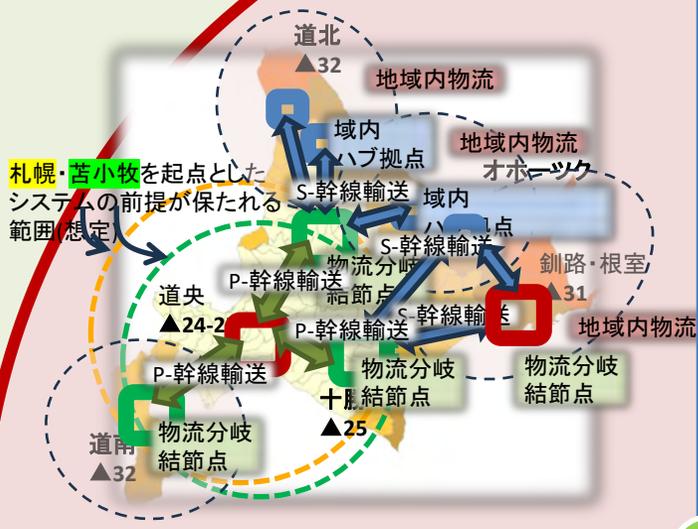
北海道地域物流シンポジウム (2026. 02. 20)

◎北海商科大学 相浦宣徳

北海道全体のマネジメント  
・各地域間の調整

**軸1:**  
行政の連携軸

道庁・局を跨ぐ戦略的な  
リソース (人員・知恵・インフラ)  
の配分・活用



**軸3:**地域の連携軸

北海道各地の産業、生活を守るための物流をベースとした地域戦略

これらにより  
自ずと深まる軸2と軸3の繋がり

**軸2:**プレイヤーの連携軸

- **自らの問題**としての認識、**現実**の周知  
～北海道は物流問題に満ち満ちている  
～トラック輸送力の低下は始まったばかり、  
時間の経過とともに深刻化する
- **モノのながれ**(運び方と運び方の選ばれ方)の**可視化**  
～運輸施策策定の大前提  
～マッチング、ルール作りの大前提
- 北海道の「物流総括責任者(部門)」としての  
「**北海道**」への期待、サポートする仕組み・体制づくり

# (相浦からみた)この一年の大きな出来事

## (地域不在の議論)

- 2025年3月14日関係閣僚会議での声明
- 海線の維持、青函共用走行問題に関する(実質的な)結論の先延ばし
- **トラック事業適正化関連法の公布(6月11日)**

## (輸送網の危うさ)

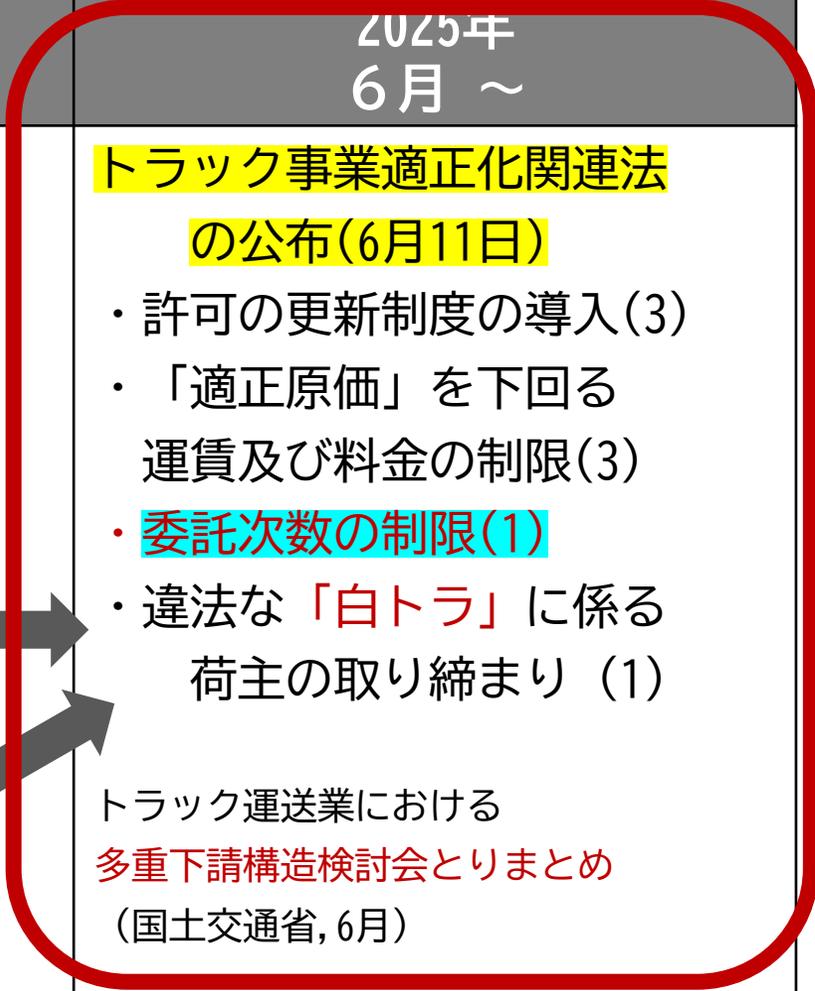
- 多発する災害により輸送障害

## (構造上の危うさ)

- トラック運賃の高騰、効率化にかかる費用、  
地域・品目によっては運賃負担困難となる兆候  
「運びたくても運べない」⇒「**運んだとて...**」
- **輸送力不足などに起因する供給連鎖の寸断**

# 昨今の物流業界を取り巻く動向

主 体	2023年	2024年	2025年 4月	2025年 6月～
行 政	「物流革新に向けた政策パッケージ」 (6月2日)  「物流革新緊急パッケージ」 (10月6日)	<b>働き方改革関連法の自動車運 転業務などへの適用(4月1日)</b> ・ 時間外労働時間の 上限規制 ・ 改正改善基準告示の適用  <b>物流関連2法の公布 (5月15日)</b>  トラック運送業における <b>多重下請構造検討会</b> (国土交通省, 8月)	<b>物流関連2法の施行</b> ・ 実運送体制管理簿 作成の義務化	<b>トラック事業適正化関連法 の公布(6月11日)</b> ・ 許可の更新制度の導入(3) ・ 「適正原価」を下回る 運賃及び料金の制限(3) ・ <b>委託次数の制限(1)</b> ・ 違法な「白トラ」に係る 荷主の取り締まり (1)  トラック運送業における <b>多重下請構造検討会とりまとめ</b> (国土交通省, 6月)
全 協		<b>【3月】 多重下請構造の あり方に関する提言</b>	トラック新法案の成立を 目指す ( <b>多重下請の制限、 適正原価の設定</b> など)	



# 豊漁のさんまが (2025)

## サンマ千ト超 6年ぶり

根室・花咲港 魚体も大ぶり

【根室】サンマの水揚げ量が15年連続日本一の根室市花咲港で4日、今季最多の1085・5トが水揚げされた。1日千トを超えるのは2019年以来6年ぶり。8月10日の解禁からの同港の水揚げ量は約7500トと昨年同期の約3倍の大漁が続いている。

棒受け網漁船20隻が戻り、漁協職員らが未明から受け入れに追われた。1隻100ト以上を漁獲する船もあり、花咲市場の高値は1匹150円の選別魚で1・680円と下がってきた。魚体は1匹140〜150%が多く昨年より一回り大きい。漁業関係者によると根室沖に冷水が流れ込んで近海に漁場が発生し、公海まで行かず日帰りで操業する船も増えている。



タンクからこぼれるほど大漁に捕れたサンマ。根室市花咲港の水揚げは6年ぶりに1日千トを超えた＝4日午前6時

花咲港の受け入れ能力は1日約千トとされるため、4日は水揚げを見送った船もあるという。漁業情報サービスセンター（東京）によると、

来遊魚の魚体は漁期終盤にかけて小さくなる見込み。買い受け人からは「つ取れなくなるか分からぬ。安く買えるうちに買う」との声が聞かれた。花咲港では低迷した水揚げが昨年6年ぶりに2万トを超え、復調傾向がみられる。漁期は12月末まで。（大井咲乃）

北海道新聞 2025.09.05朝刊



物流・加工が  
産地から消費地への

供給の  
ボトルネックに

## サンマ漁13年ぶり制限

### 漁獲増の根室受け入れ難

【根室】全国さんま棒受け網漁業協同組合（全さんま、東京）は、サンマの漁獲量が急増していることから、水揚げ後の24〜48時間は休漁する全船対象の操業制限を始めた。主力の根室市花咲港ではサンマを運ぶコンテナや水などが不足し、受け入れが困難になっているため、30日まで続ける予定。操業制限は年間22万トを水揚げした2012年9月以来13年ぶり。漁業情報サービスセン

ター（東京）によると、今年8月のサンマの国内水揚げ量は前年同月比2・3倍の4987ト。うち9割を占める花咲港は同2・1倍の4539トで、9月も連日数百ト〜千トの水揚げが続いている。同港の受け入れ能力は1日千ト程度とされ、水揚げできない船も出ている。今回の操業制限は4日に始め、水揚げから原則24時間、12日以降の金、土曜は同48時間休漁する。休漁明けの日の午前

6時に休漁できる。今後の状況により変更する可能性もある。不漁が続いたサンマ漁は昨年、全国の水揚げ量が前年比58%増の3万8695トと回復したものの、20万トを超えた14年以前と比べると低水準のまま。水産加工業界の処理能力も減り、全さんまの大石浩平専務理事は「不漁続きでこのような状態になるとは思っていなかった。港が混乱状態で休漁はやむを得ない」と話す。

サンマ漁の主力の棒受け網漁は8月10日に解禁された。漁業情報サービスセンターがまとめた8月の花咲港以外の水揚げは厚岸漁港が前年同月比2倍の351ト、昨年セロの釧路港が69ト、岩手県大船渡港が28トだった。花咲市場の8月の平均単価は1キ652円と前年同月より134円下がった。水産庁は今季のサンマ来遊量を昨年並みの「低水準」としていた。同センターは「餌の発生が良く、魚体が大食い。公海に14〜17度の水温帯ができて予想より漁獲量が伸びている」としている。漁期は12月末まで。（大井咲乃）

北海道新聞2025.09.06朝刊

## 第十回 北海道物流研究会



### 物流事業者 連携・共創の集い

参加者募集

荷主・物流事業者等が集い、共同輸送・中継輸送など事業者間の新たな連携や共創を目指し、お互いに意見を交わす場を設けます。

日時 令和8年 2/16 (月) 13:30~16:30

申込方法 別紙「参加申込書」に必要事項を記入のうえメール送付をお願いします。参加費は無料です。  
メール: [hkt-kanbutsu-saitsu@gxb.mlit.go.jp](mailto:hkt-kanbutsu-saitsu@gxb.mlit.go.jp)

申込期限: 2月9日(月)13時

第1部 情報提供 13:30~13:50

- 北海道運輸局 「共同輸送・中継輸送関連補助について」
- 北海道開発局 「ロジスクと北海道中継輸送ポイントマップの紹介」

第2部 意見交換 13:50~16:30

共同輸送・中継輸送等のテーマに沿ったグループトーク

会場 帯広市西19条北2丁目4 十勝地区トラック研修センター 2階大研修室 (十勝地区トラック協会)

【お問合せ先】 北海道運輸局 交通政策部 環境・物流課 ☎ 011-290-2726

共催: 北海道運輸局、北海道開発局 協力: 一般社団法人十勝地区トラック協会



## HOKKAIDO 物流フォーラム 2026

令和8年 2月19日(木) 14:00~17:00 WEB開催(無料)

生産空間の維持・発展のための 物流効率化に向けた共創イベント

道内における物流効率化に向けた取組事例の報告

- 行政機関からの情報提供 (北海道運輸局)
- 物流拠点整備に関する取組報告 (春田市、道くまやかた(株))
- 物流効率化に関する取組報告 (網走市、北海道物流研究会、北海道運送連合会)

ロジスク実行委員会、「ロジスク」参加企業からの成果報告等

- 実行委員会からの報告 (北海道商工会連合会、北海道開発局)
- 「ロジスク」参加企業からのマッチング成果報告

## 北海道地域物流シンポジウム 2026

～持続可能な北海道物流の未来を拓く～

2026 2/20 (金) 14:00~16:00 先着順 参加無料

会場 アステイ45 4階 アステイホール (札幌市中央区北4条西5丁目)

配信方法 Zoom

対象 製造・卸売・小売業等すべての荷主事業者、運送・倉庫業等の物流事業者等

定員 [会場] 130名程度、[オンライン] 200名程度

主催 経済産業省北海道経済産業局

プログラム

- 北海道における経済産業省の物流効率化の取組と改正物流効率化法について / 経済産業省北海道経済産業局
- 共同輸送データベース&デジタルマッチングシステム実証事業について / (一社) 運輸デジタルビジネス協会・(株) traevo
- 水産物流の効率化・標準化に向けた実証事業について / (株) ドーコン
- 2024年問題を受けた荷主との物流課題解決に向けた取組/エ・ウォーター物流 (株)
- 北海道物流WEEK 2.0 2.6 総括と未来に向けて / 北海道大学 商学部 商学科 教授 相浦 宣徳 氏
- 名刺・情報交換等

お申込方法 (締切: 2/19 (木) 12:00)

以下の申込フォーム・二次元コードがお申し込み下さい。  
<https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/hokkaido-sangyousinkou/20260220>

問い合わせ先 経済産業省北海道経済産業局 産業部 産業振興課 担当: 小島、松森、高橋  
E-mail: [bz-hokkaido-ryutsu@meti.go.jp](mailto:bz-hokkaido-ryutsu@meti.go.jp) / TEL: 011-709-2311 (内線2591, 2592) (事務局)

株式会社ドーン 交通事業本部 交通部 担当: 西田、米田、渡辺  
E-mail: [r7buturyu@docon.jp](mailto:r7buturyu@docon.jp) / TEL: 011-801-1520

## 札幌市中央卸売市場 市場+博士への道

市場のお仕事を知らうと物の食料を食べよう!

今回は、『農林水産省 北海道農政事務所』とコラボでパワーアップ!  
資料は入ることができない『卸売場』や『冷凍施設』が見学できるよ!  
クイズを解きながら市場のお仕事を学ぼう! 市場に詳しくなって、みんなで市場博士になろう!

開催日程

日時: 2026年 2月21日 土曜日  
AM 9:30 ~ PM 12:00 (参加費無料)

対象: 日新小・蘭園小・二十四軒小 5・6年生と保護者 14組 (28名 子どもと保護者 各1名)

場所: 札幌市中央卸売市場  
〒060-0012 札幌市中央区南12条西20丁目2番  
駐車場: 市場敷地内、専用駐車場あり(申し込み後連絡先までお問い合わせ)

参加内容

- 市場の役割について
- つながる食と生産の仕組み
- 冷凍施設見学
- 物の食料試食
- クイズ等合わせ
- 市場博士授賞式

【お申し込み】  
締切: 2月19日(木) 12時  
※連絡メール到着等の目安をしております。通知メールが受信されるよう受信設定をお願いします  
※締切に間に合わない場合は、こちらからの連絡はおりませんのでご了承ください

持ち物

- 名刺・連絡先、必ずお持ちください
- 特に冷凍施設は白服では体験できないほどの寒さのため、防寒に注意のご利用をお願いします
- 必要に応じてお持ちください

イベントの様子、市場と卸売場のSNS等に撮影する予定です。イベントスタッフが撮影をおこないますのでご了承ください

問合せ先 札幌市中央卸売市場協会 担当: 村上  
TEL: 011-313-3176 (R: 00~16:00)  
Mail: [kyukai@sapporo-market.gr.jp](mailto:kyukai@sapporo-market.gr.jp)  
※上記のE-Mailでの返信は受け付けておりません

## 軸1:行政の連携軸

- ⑤ ロジスク実行委員会
- ④ 2024年度下期  
北海道物流関係機関5者会議  
(開発局、運輸局、経済産業局、北海道庁、農政事務所)
- ③ 2024年度下期  
北海道物流WEEK2025関係機関5者会議  
(開発局、運輸局、経済産業局、北海道庁、農政事務所)
- ② 2024年度上期  
ロジスク担当者会議  
(開発局、運輸局、経済産業局、北海道庁)
- ① 2023年度  
北海道物流WEEK関係機関会議  
(開発局、運輸局、経済産業局)

「戦略を議論する場」

「調整する場」

「情報共有する場」

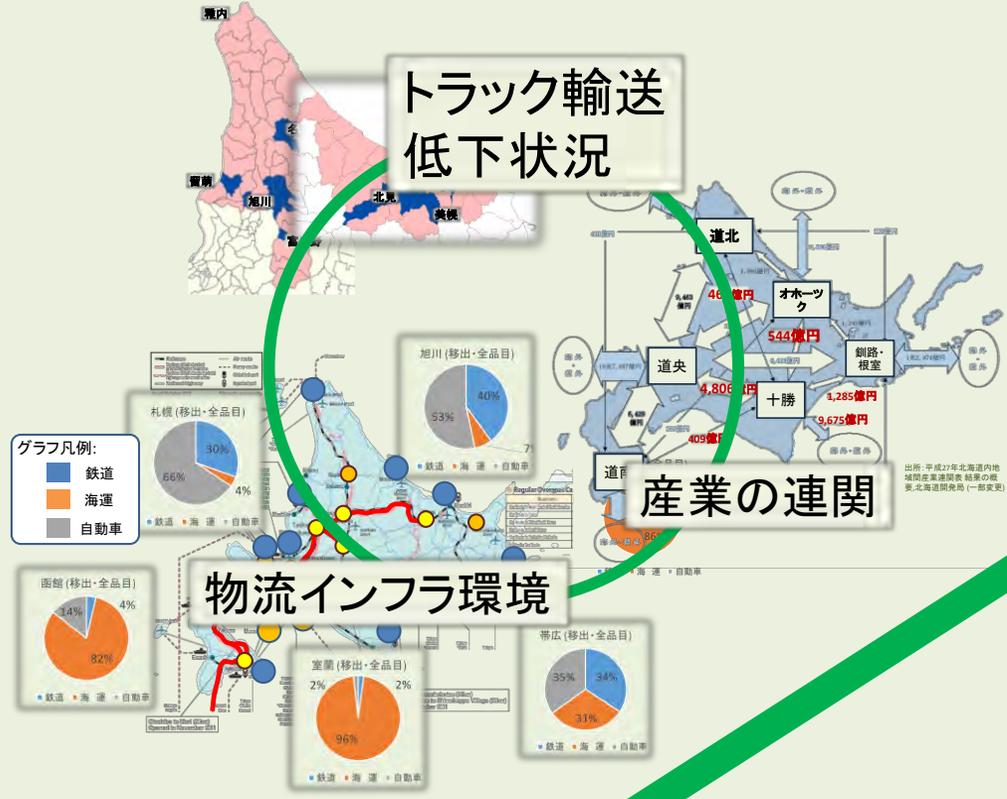
## 軸2:プレイヤーの連携軸

協創・共創による事業の継続

荷主の皆様の参画が必須

交わされる極めて専門性の高い議論

- ・ロジスク
- ・北海道物流研究会 ・PoC検証
- ・釧路港におけるモーダルシフト(船舶)の取り組み
- ・北海道通運業連合会の取り組み  
(地域連携モーダルシフト等促進事業)
- 北・北海道物流拠点検討協議会
- 北海道苫小牧海陸一貫モーダルシフト推進協議会
- ・共同輸配送データベース&デジタルマッチングシステム実証事業 / (一社)運輸デジタルビジネス協議会・(株)traevo
- ・水産物流の効率化・標準化に向けた実証事業について / (株)ドーコン
- ・2024年問題を受けた荷主との物流課題解決に向けた取組 / エア・ウォーター物流(株)



## 軸3:地域の連携軸

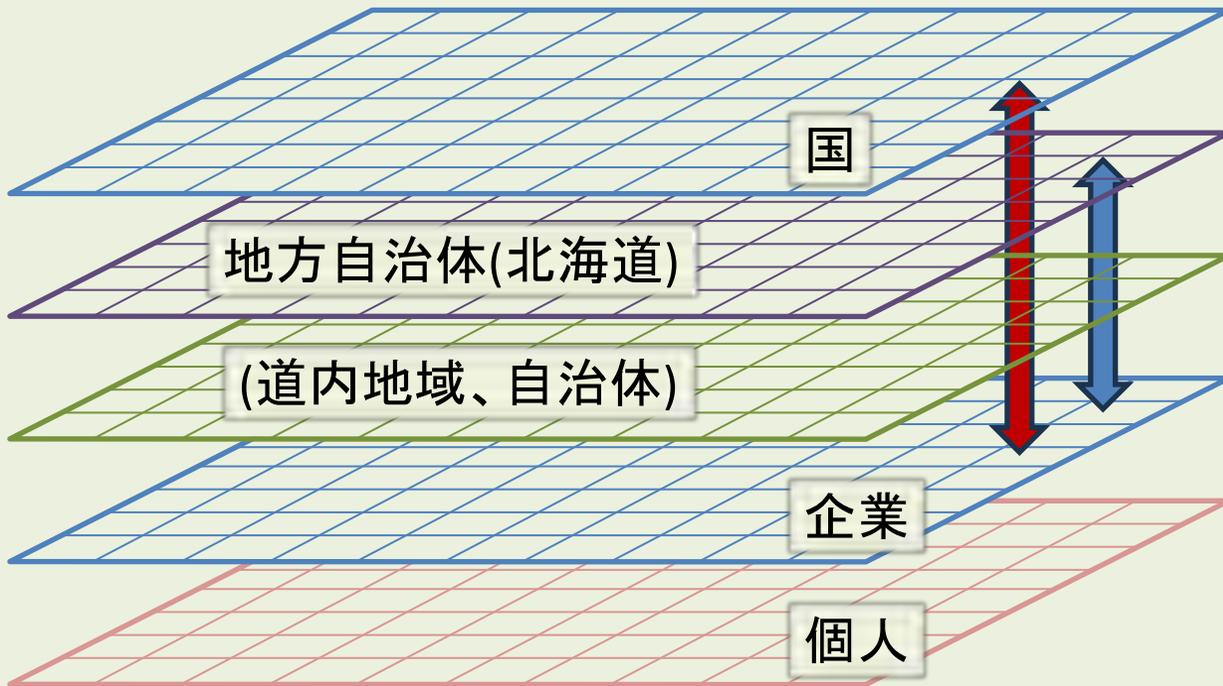
北海道各地の産業、生活を守るための物流をベースとした地域戦略

# こと、物流については未整理の領域が多い

## こと、物流については未整理の領域が多い。

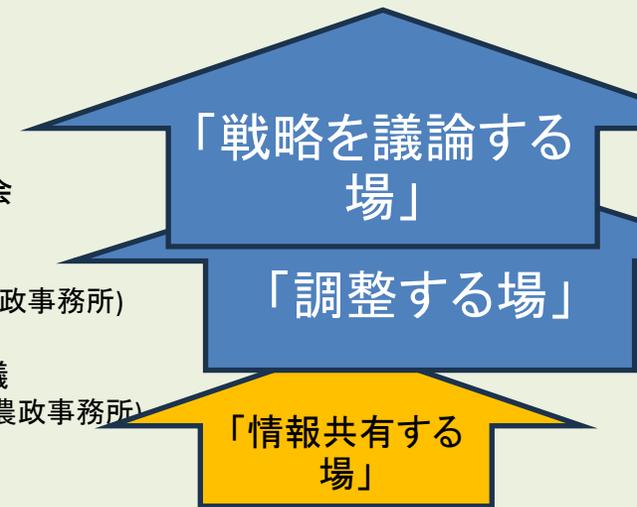
- ・分担すべき領域
- ・連携すべき領域

各レベルでの戦略メッシュ



### 軸1:行政の連携軸

- ⑤ロジスク実行委員会
- ④2024年度下期  
北海道物流関係機関5者会議  
(開発局、運輸局、経済産業局、北海道庁、農政事務所)
- ③2024年度下期  
北海道物流WEEK2025関係機関5者会議  
(開発局、運輸局、経済産業局、北海道庁、農政事務所)
- ②2024年度上期  
ロジスク担当者会議  
(開発局、運輸局、経済産業局、北海道庁)
- ①2023年度  
北海道物流WEEK関係機関会議  
(開発局、運輸局、経済産業局)

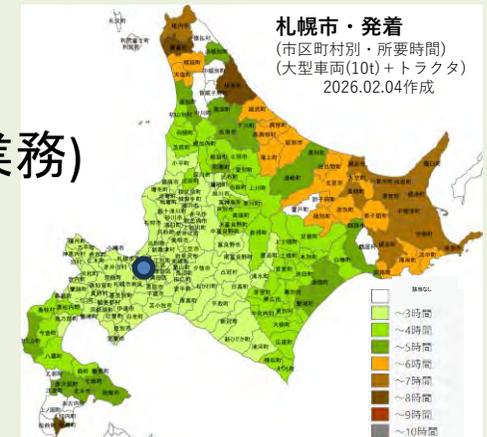


- **自らの問題**としての認識、**現実**の周知  
～トラック輸送力の低下は始まったばかり、時間の経過とともに深刻化
- **モノのながれ**(運び方と運び方の選ばれ方)の**可視化**  
～施策策定、マッチング、ルール作りの大前提

2026

### 経験・知見の集積

- ・体系的な調査(乱立する調査業務)
- ・調査結果の供給  
(運輸事業者の皆様への)
- ・任期の見直し



2026

### 荷主の参画

- ～不安と不信の解消に主眼を置いた実証など、
- ～同業他社を束ねることへの行政への期待。

(例えば、ロジスクを入り口として、北海道物流研究会様にご参加いただくなど。)

- 北海道の「物流総括責任者(部門)」としての  
「北海道」への期待、サポートする仕組み・体制づくり

いま、物流を考えることは

「(将来)次世代にどのような地域を残すか」

を考えること